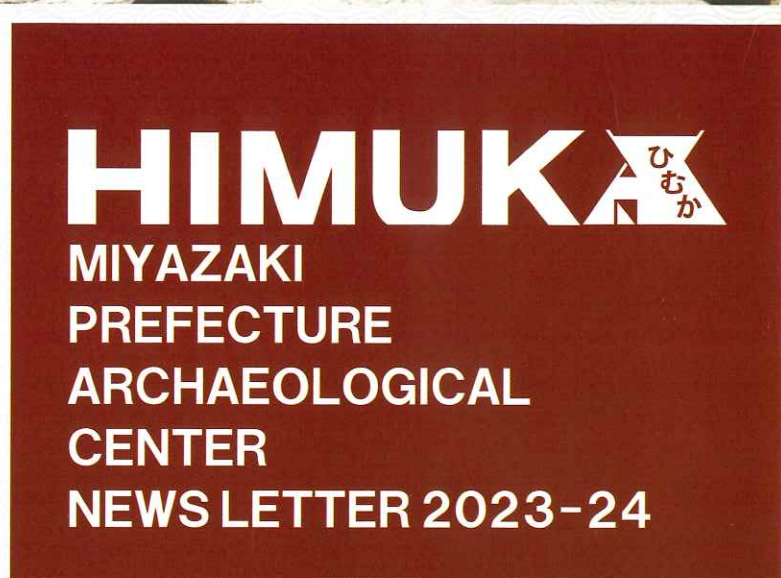




宮崎県埋蔵文化財センターは、県内各地において遺跡の発掘調査や、西南戦争関連遺跡などの重要遺跡の保護を目的とした分布調査を行っています。また、これまでの発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、遺構の写真や図面といった記録は、学術研究のほか、展示会や出前講座などで活用し、県内の様々な場所において郷土の歴史を学ぶ機会を提供しています。

令和5年度
宮崎県埋蔵文化財センター通信
ひむか 第26号

写真 左上：施設見学の様子 右上：現地説明会（田宮遺跡）
中左：出前講座の様子 右下：発掘の様子（東畦原第1遺跡）
左下：西南戦争関連講座の様子

「ホンモノ」の感動を埋文センターで

宮崎県埋蔵文化財センターでは、年間を通して、様々なイベントを行っています。
「ホンモノ」の感動を埋文センターで体験してみませんか。

埋文講座

- 5月19日(日)『斜面の歴史と少し新しい調査記録の話』樋口遺跡(五ヶ瀬町)
- 6月23日(日)『盆地統一『都城』～都城の成り立ちと発掘調査結果～』都城跡(都城市)
- 8月25日(日)『激戦、大台場～西南戦争 日之影大楠の戦い～』
- 12月15日(日)『九州唯一の逸品～山崎上ノ原第1遺跡で出土した「特殊扁壺」～』
- 1月19日(日)『宮崎平野の形成過程から考える段丘発達と遺跡の立地』



近年、発掘調査を行った遺跡や、調査研究の成果、解き明かされてきた宮崎の歴史についての講座を行います。

移動展示会 ふるさとの遺跡再発見



- 高千穂会場** 日時: 7月10日(水)～8月8日(木) 展示解説・体験講座 8月4日(日)
場所: 高千穂町コミュニティセンター(歴史民俗資料館)
- 山之口会場** 日時: 10月1日(火)～10月27日(日) 展示解説・体験講座 10月20日(日)
場所: 都城市山之口総合支所
- 国富会場** 日時: 2月1日(土)～2月27日(木) 展示解説・体験講座 2月9日(日)
場所: 国富町総合文化会館 ※休館日: 月曜日

本センターがこれまで行ってきた調査と研究の成果を地域に還元します。令和6年度は高千穂町、都城市山之口町、国富町で開催します。ぜひお越しください。

遺跡発掘成果展2024

東九州自動車道118遺跡 清武～西都編

日時: 2月19日(水)～3月9日(日) ※休館日2/25、3/3

場所: 宮崎県立図書館 特別展示室(2階)

[展示解説] 2月23日(日) 13:30～14:00 3月2日(日) 14:30～15:00

[遺跡発掘速報会] 3月2日(日) 13:30～14:30

本センターが東九州自動車道建設に伴って行った発掘調査を振り返り、展示・紹介します。展示期間中に展示解説や遺跡発掘速報会を開催します。



博物館子どもDAYコラボ企画

埋文センターで『ホンモノ』体験

日時: 11月4日(月) 10:00～16:00

場所: 宮崎県埋蔵文化財センター分館(県総合博物館となり)

埋文センターで土器や石器の実物に触れたり、石器レプリカづくりやミニ発掘体験、バックヤードツアーに参加し、「ホンモノ」の感動を体験しませんか。

編集・発行 宮崎県埋蔵文化財センター

【本館】〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019

TEL 0985-36-1171(総務課)、0985-36-1172(調査課)

【分館】〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4

TEL 0985-21-1600(普及資料課)

埋文センターHP



発行日 2024年3月29日



令和5年度
発掘調査

県内最古クラス的生活あと

ひがし うね わら

東畦原第1遺跡（新富町大字新田）

にゅう た

調査期間: 令和5年9月21日～令和6年3月15日 令和6年4月～令和7年2月(予定)



遺跡近景



旧石器時代の礫群

東畦原第1遺跡は、鬼付女川左岸にあり、三財原台地上の緩やかな傾斜地に立地しています。

令和5年度の発掘調査では、縄文時代早期の妙見式土器、旧石器時代の礫群や石核、二次加工がある剥片などがいくつかの地層から出土しました。このことから旧石器時代から縄文時代にかけて繰り返し利用された場だと考えられます。なかでも最下層で発見された礫群や石器は、県内でも最古クラス的生活址として注目されます。

今後、平成13～16年に東九州自動車道建設に伴って発掘調査が行われた隣接する調査箇所と、連続する遺構や遺物の発見が予想されます。



令和5年度
発掘調査

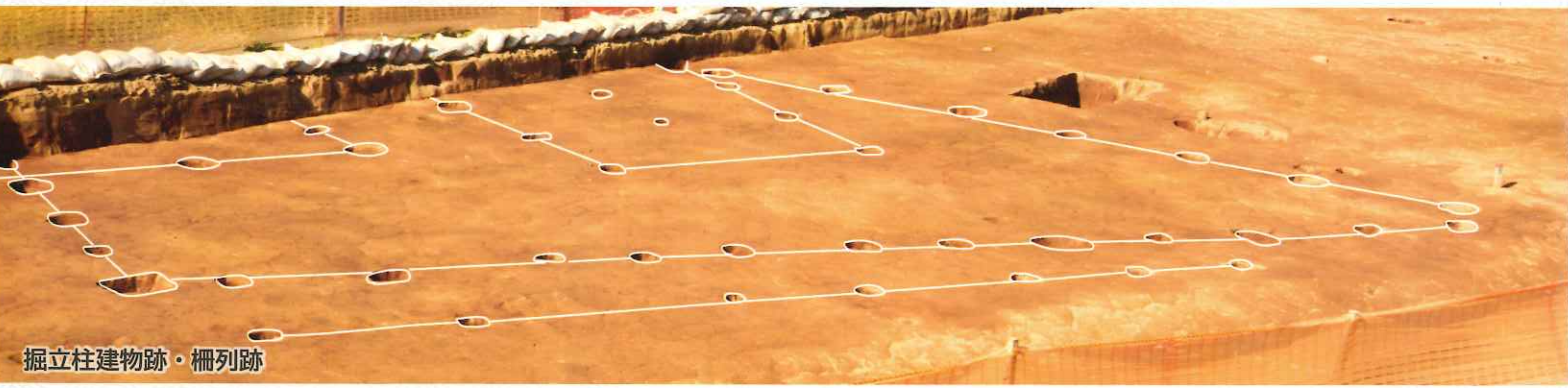
西階城跡に近接する中世の遺構

た みや

田宮遺跡（延岡市天下町）

あ もり

調査期間: 令和5年6月20日～令和5年11月15日



掘立柱建物跡・柵列跡

田宮遺跡は、大瀬川と分岐した五ヶ瀬川下流の左岸沿いの微高地上に立地しています。

発掘調査の結果、古墳時代～古代の土師器や須恵器、中世の陶磁器や石製品などの遺物出土し、掘立柱建物跡5棟・柵列跡5条・竪穴住居跡1基の建物群が確認されました。この建物群は、出土遺物から中世後半(14～15世紀)頃のものと考えられます。

遺跡が五ヶ瀬川の河岸に位置し、対岸の西階城が機能していた時期と重なることから、川を利用した物資運搬などの西階城に関連する施設であった可能性があります。



出土遺物



遺跡遠景

施設見学/職場体験/インターンシップ

埋文センターで『ホンモノ』を体験しよう

本センターでは、施設見学や、職場体験、インターンシップを実施しています。センター分館では、展示解説やバックヤードツアー、地域の歴史講座のほか、土器や石器の実物に触れたり、石器レプリカづくりなど様々な体験活動も行っています。



バックヤードツアー



縄文時代の道具体験

西南戦争関連遺跡調査・活用事業

調査期間：令和5年度～令和7年度（3か年）



台場の調査状況（11号）



台場の調査状況（15号）

前事業（令和2～4年度）より引き続き、西南戦争関連遺跡の分布調査等を行っています。今年度は、18か所89基の墓や慰霊碑等を確認しました。（令和6年1月31日現在）

日向市美々津町の笹尾台場群では、台場の構造を確認するための調査を行いました。明治10年（1877）8月に政府軍と薩軍が耳川を挟んで対峙しており、この台場は政府軍が築造したものです。

調査の結果、当時の姿をほぼとどめていることが分かりました。台場とその周辺からは、多数の薬莖が見つかり、ここから対岸の薩軍へ向け発砲したことを裏付けています。



解き明かされた地域の歴史

ふるさとの遺跡再発見【移動展示会】

期間：令和4年度～令和6年度（3か年）



高原会場（高原町役場）



木城会場（みどりの杜木城学園）



西都会場（西都市歴史民俗資料館）

埋蔵文化財センターには、県内各地の発掘調査で出土した膨大な資料が収蔵されています。その成果を広く県民の皆様に還元するため、今年度は、高原会場（高原町役場）、木城会場（木城町立みどりの杜木城学園）、西都会場（西都市歴史民俗資料館）の3会場で展示会を開催しました。展示会では、地域の方々に埋蔵文化財をより身近に感じていただけるよう、各会場周辺遺跡からの出土資料を中心に約400点を展示し、関連講座を行いました。

また、事業の一環として、「ふるさとの遺跡学習会」を会場周辺の学校で実施し、地元出土の実物資料に触れたり、古墳のAR体験なども実施しました。



体験講座



展示解説

出前講座/出前展示 ほか

『ホンモノ』の感動をお届けします

宮崎県内から出土した実物資料や遺跡中継、デジタル資料などを組み合わせた出前講座・体験講座など、ご要望に合わせた授業・研修を実施しています。また教職員研修や家庭教育学級、PTA催事、地域の文化祭、生涯学習会などにもお伺いします。



発掘現場の生中継

【R5 利用団体数（回数）】

小学校21（30）、中学校7（11）、
大学1（5）、特別支援学校1（1）、
幼稚園・保育園2（2）、
職員研修5（5）、教育委員会5（6）、
家庭教育学級2（2）、一般団体6（6）
計50団体（68回）